

ICT を活用した授業のイメージをつくりましょう

教科 ・ 領域等	音楽科
授業タイトル・単元名等	日本の音楽について知ろう
対 象 学 年	第6学年
実 施 場 所	音楽室、パソコン室
I C T活用授業の内容	<p>授業のねらい 旋律やリズム、音色など、日本の伝統音楽の特徴を味わって聴くことができるようにする。</p> <p>授業の流れ（全9時間）</p> <p style="text-align: center;">第1次 日本の音楽について知ろう。</p> <p>1時 現在の日本にはどんな音楽があるのか話し合い、伝統音楽との違いについて考える。伝統音楽で使用する楽器や音楽について学習する。（教師の用意したプレゼンテーション画面を見たり、CDを聴いたりする。）</p> <p style="text-align: center;">第2次 日本の楽器について調べて発表しよう。</p> <p>2・3時さらに詳しく学習するために、インターネットを使用して日本の音楽で使用される楽器から一つ選び、班で協力して調べ学習を行う。</p> <p>4・5時調べた楽器について、プレゼンテーションを行う。</p> <p style="text-align: center;">第3次 日本の音楽を演奏してみよう。</p> <p>6時 学校にある楽器の中で、日本の楽器に代えられるものを自分たちで探す。</p> <p>7・8時前時で決めた楽器を使って、「越天楽今様」の練習をする。</p> <p>9時 発表会を行う。</p> <p>I C T活用のねらいと授業での位置づけ 授業全体をI C Tに頼るのではなく、児童の意欲づけや、紙面では理解しづらい部分でうまく活用する。音楽科の授業では、教科書の写真を見ているだけではわかりづらい面があるため、実際に演奏している動画や、学校にはない楽器（琴、尺八、箏箏など）の拡大写真や音を流せば、伝統楽器をより身近に感じることができ、何より学習の意欲につながると考えた。</p>
活用する ICT メディア	パソコン、プロジェクタ、タッチボード（できれば）
活用するコンテンツ等	教育芸術社のホームページ、コロムビア「日本の伝統音楽」サイト、日本芸術文化振興会「日本の伝統音楽～楽器編～」サイト